

デジタルビデオレコーダー

H.264 (4/8/16 Ch)

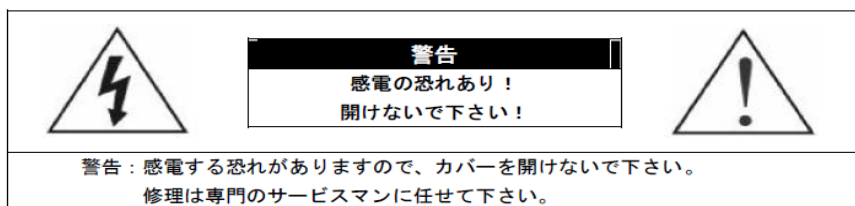
NS-7040R/7080R/7160R

クイックガイド

(簡易取扱い説明書)



H.264 DVR – (4/8/16 Ch) クイックガイド



左のマークは機器内部に絶縁処理が施されておらず、感電の恐れのある「危険電圧箇所」の存在を警告し、表示しています。



左のマークは機器を説明する文書の中で、重要な操作方法やメンテナンス（サービス）指示が掲載されていることを表しています。

1. より安全にお使いいただくために

1. お使いいただく前に「取扱説明書」を十分にお読み下さい。
2. 「取扱説明書」は大切に保管して下さい。
3. 機器を清掃する場合は、かならず前もってコンセントからプラグを抜いて下さい。
汚れたら液体洗剤やエアゾール洗剤は使用しないで乾いた布でふき取して下さい。
4. 弊社製品以外の付属品は、火災・感電・けがの恐れがあるため使用しないで下さい。
5. 機器を水の近くに（例えば：浴槽・洗面台・流し台・洗濯機・湿気の多い地下・プールなど）置いたり、そこで使用したりしないで下さい。
6. 不安定なカート・スタンド・机の上に機器を置かないで下さい。
機器が落ちてケガをしたり、機器そのものに損傷をきたしたりすることがあります。「取扱説明書」で指定された移動カートやスタンドをご使用ください。移動カートを動かすときは急回転・超過重避けて安定した状態で、慎重に移動させて下さい。
7. 表示されている電源の種類にしたがって、運用して下さい。種類がわからない場合は、販売店または電力会社にご相談下さい。
8. 機器を取り扱う際には接続されている電源およびTNT を取り外して下さい。
9. 雷が発生している際や、長期間お使いにならない場合は、雷や送電線からのサージ（= 電流・電圧の瞬間的に急増すること）を避けるため、電源、アンテナその他のケーブルを外しておいて下さい。
10. コンセントや延長コードに過電流を流さないようにして下さい。火災や感電の恐れがあります。
11. 機器を開けて中身を押したりしないで下さい。危険な電圧箇所に触れたり、部品がショートして火事や感電につながる恐れがあります。
12. 機器をご自分で修理しないで下さい。修理・整備点検は専門のサービスマンにお任せ下さい。
13. 換気窓を異物でふさがないようにください。温度上昇によって火事につながる恐れがあります。
14. 次のような場合は速やかにプラグをコンセントから抜き、専門のサービスマンにご相談下さい。
 - A) 電源コード及びプラグが損傷したとき。
 - B) 機器の中に液体をこぼした場合また異物が中に入った場合。
 - C) 機器が、雨や水に濡れた場合。
 - D) 「取扱説明書」にしたがって作動させても正常に動作しない場合、不適切な調整は、機器に損傷を与えるばかりでなく、機器を正常動作に復元するため、専門技術者による長時間にわたる作業を必要とする可能性があります。
 - E) 機器を落としたり、カバーを損傷したりした場合。
 - F) 機器の性能が著しく変化して、修理が必要になったとき。
15. 部品交換が必要になった場合、弊社の指定部品または同等性能部品かどうかを確認してご使用下さい。指定外の部品をご使用になると火災や感電等の恐れがあります。
16. 機器の修理や点検を受けたときは、専門のサービスマンに安全確認をしてもらい、適切な作動状態にあるか、正常な動作をしているかを確認してもらって下さい。
17. 設置は専門のサービスマンに任せ、運用にあたっては法律条令を確認して下さい。
18. 専用のバッテリーと交換しないと爆発の恐れがあります。使用済みのバッテリーの処分方法については専門のサービスマンにご相談下さい。
19. 仕様に表示されている動作温度環境内で運用して下さい。
20. ラック内等に設置すると、ラック内の温度は部屋の温度より高くなる場合がありますので、注意して下さい。
21. ラック内に設置する際は、安全に運用するため十分に空気の流れがあることが必要となります。
22. ラック内に設置した機器の上などに不必要に他の機器などを重ねて置いたりしないで下さい。
23. 備え付け回路への機器の接続の際、過電流保護回路、すでに供給されている電気配線へ負荷を与えすぎないように気を付けて下さい。不明な時は機器に表示されている格付けを参照して下さい。
24. ラック内に設置された機器は適切にアースがなされていることを確認して下さい。分岐回路へ直接接続する場合（例：電源ストリップを使用する）を除いては、電源の接続は特にご注意下さい。

H.264 DVR – (4/8/16 Ch) クイックガイド

HDD (ハードディスク)は指定のものをお使いください。指定のもの以外は作動しない場合があります。

[指定HDD]

ウェスタンデジタル社

シーゲート社

SATA 80,160,250,320,500 GB

4Chは1個、8Ch・16Chは2個入ります。(トータル1TBをサポート)

HDDを2個入れる場合は同じ容量のものを入れてください(例 80GB×80GB)

製品と機能の説明

背面パネル



(1) ビデオ入力 (BNC)

カメラ入力 4、8、16 チャンネル (1.0v p-p, 75 Ω)

(2) ビデオ出力

コンポジット/ VGA/ スポット

(3) 音声入力 / 出力

1音声入力/出力

(4) RS232

1シリアル通信

(5) ネットワーク 端子(RJ - 45)

インターネットまたはLANによって、ライブ映像とHDDに録画された再生映像をモニタリングできる

(6) RS485 カメラ/ キーボードコントローラー

パンチルト駆動カメラ用シリアル通信ポート

P/T/Z制御キーボード用シリアル通信ポート

(7) アラーム / センサー

アラーム/センサー 1入力、出力端子

(8) VGA/SPOT

VGA/SPOTポートは別のモニターへ同時に出力

(9) マウス

正面:フラッシュメモリとマウス用USBポート

背面:PS2マウス用、一般のマウスでは駆動しない場合もあります

この場合、USBマウスを正面のUSBポートに挿入してください。

(10) DC電源入力

AC110~240V (電圧フリー) / DC 12V 3A 以上

注意

ビデオ形式を変えるときは、システムは再起動してください。ビデオ形式が、起動する前に選択してください。

H.264 DVR – (4/8/16 Ch) クイックガイド

既定パスワード

「00000000」(すなわち0が8個)電源を切断するとき、又は録画をやめるときパスワードを求めてきますので入力してください。



ウェブクライアント

ユーザーIDは「admin」です(大文字と小文字の区別はありません)管理者IDは変えることはできません。パスワードは、「00000000」(すなわち0が8個)です



赤外線リモコン




1. Power : 電源 ON/OFF
2. Rec : 録画スタート、ストップ
3. ~⑨: 数字ボタン
4. P/T/Z: PTZメニューに入る
5. OSD : OSD 操作ON/OFF
6. SEQ : スポット用ホットキー(120/100fps)
SEQ オペレーション(4808/400fps)
7. LOG : LOGリスト呼び出し
8. INFO: 情報システム呼び出し
9. ID : 使用しない
10. MUTE : 消音
11. AUDIO : オーディオ選択
12. MENU : システムメニュー
13. SEARCH : 検索
14. 分割の矢印 : 左右、上下に移動すると画面が分割画面に移動する。
15. VOL "+, -" : 音声ボリューム高低
16. CH "+, -" : チャンネル上下
17. () : 再生(早送り)
18. () : 空き戻し
19. II : ポーズ
20. : 再生停止
21. Cam : PTZ アイコンに変える
22. P/T : パン&チルト
23. Z/F : ズーム & フォーカス
24. DIS : 分割画面


OSDの説明



ステータスバーはHDDの容量、イベント、ネットワーク接続、時間などをアイコンで現します

-HDD 容量  : ハードディスク容量を表示、例) 149GB中135GB使用

-イベント : 電源OFF、ビデオロスなどがあったとき表示

-ネットワーク接続  : 管理者が接続しているとき表示

-日付/時間

*その他 :

-バックアップ  -音声なし  -USB スティック:  - マウス 

全体設定

音声/上書き/解像度などを設定します。この全体設定はすべてのチャンネルに適用されます。

HDD上書き

HDD容量が一杯になったとき、古い保存映像データから削除して新たな映像を保存するかを指定します。オン（上書き）オフ（ストップ）を選択します。

プライベート解像度

イベント発生直前の録画（プリアラム録画）の解像度をCIF（360x240）2CIF（720x240）4CIF（720x480）から選択可能です。

プライベートFPS/プライベート録画

イベント発生直前の録画機能「プリレコーディング」で録画速度（fps）と録画持続時間を選ぶことができます。

ポストイベント録画



H.264 DVR – (4/8/16 Ch) クイックガイド

イベントが発生した後、録画持続時間を決定します。
録画継続時間は、5/30/60/90/120/150/180/210/240秒の間で選択可能です。

録画画質

高い・標準・低い から選択できます。

オーディオ

オーディオが入力するCHを指定します。

プライバシーゾーン設定

プライバシーを保護するためにマウスでプライバシー地域を選ぶことができます。



連続録画



指定の設定値で連続録画をします。

それぞれのチャンネルでフレームレートが変更されます。1CIF (360 × 240) では30fps(トータル120fps)、2CIF (720×240) では15fps(トータル60 fps) 4CIF (720 × 480) では7.5fps(トータル30fps)

カメラ個々のフレームレート制御可能です。また、オーディオのオン/オフを選択できます。数字は「SEL」ボタンを押してから“ ”ボタンで変更されます。



アラーム録画



センサーが働くとき録画を実行します。セットする方法は、連続録画と同じです。

解像度、フレームレートは「SEL」ボタンを押してから“ ”ボタンで変更されます。



モーション録画



設定した領域でモーションを感知すると録画を実行します。録画画質、フレームレート、オーディオオン/オフ、感度と領域を選ぶことができます。「SEL」ボタンを押してから“ ”ボタンで選択できます。



H.264 DVR – (4/8/16 Ch) クイックガイド

モーション感度

高い・中・低い で構成されます。

モーション領域

モーション領域は、10x8に分割されます。設定値はすべての領域を活性化するときに使います。白い囲みのセルを移動させて赤に変化させたとこが活性化したセルで、モーション領域を表します。

注意

モーション録画しているとき、モーション感度に応じて記録されるため、感度・領域の調整が必要です。



スケジュール録画



プログラムされた時間テーブルに従って記録を実行します。それぞれのチャンネルでフレームレートが「SEL」ボタンを押してから“ ”ボタンで変更されます。1CIF(360×240)では30fps(トータル120fps)、2CIF(720x240)では15fps(トータル60fps) 4CIF(720×480)では7.5fps(トータル30fps)

「SEL」ボタンで録画したい日時を選択します。矢印キーで移動させます。



録画持続時間



録画チャンネル、解像度、オーディオ録音可否、録画保存期間を選択すれば残りHDD容量で録画が可能なフレームレートを自動的にセットします。



録画優先順位

4種類のレコーディング方法の間で、録画優先順位を指定します。数字が小さい順番で最優先に録画が行います。なので、1番目に連続録画を指定するといつでもどんな条件でも連続録画しますから2番目以後の指定は意味がないです。

例え) アラームを30fpsで720x480録画、モーションも15fpsで720x480録画、連続を1fpsで350x240録画で指定して、1番目にアラーム録画、2番目にモーション録画、3番目に連続録画をするとアラームがある時はアラーム条件で録画、アラームは無いですがモーションがあったらモーションの条件で録画、アラームとモーションが両方ともないと連続の条件で録画します。連続録画をするときにもアラームかモーションがあればまたその条件で録画します。



プログラムアップグレード



最新のファームウェア・バージョンはメモリースティックを使用して、USB 2.0ポートを通じてアップグレードすることができます。メモリースティックをUSBポートに接続するとスクリーンのステータスバーに示されます。その後、menu入る システム設定 新しいプログラムシステム。新しいプログラムが認識されれば、スクリーンに表示されます。次に、「選択する」キーを押してください。処理パーセンテージが表示されます。



注意

1. システムが「新しいプログラム」を認識しない場合、「アップグレードプログラムが見つかりません」メニュー」キーを押して抜けてください」と表示されます。
2. USBの動作確認と互換性は以下です。[Lexar Jumpdrive 128/256MB]、[サンディスク・ミニCruzer& Cruzerマイクロ1GB]、[サンディスク1GB 512MB]、[MARUZEN 1GB]
3. システム安定確認については、アップグレードしてから、1)録画,2)再生,3)ネットワーク接続の順に行ってください。
4. プログラムを更新した後に、必ず再起動してください。

ネットワーク



(ネットワーク接続するとこのアイコンが表示されます)

ネットワークをセットするにはパスワードが必要です。(初期値は00000000です)
固定IPを使用する場合、各々のアドレスはネットワーク環境に従って記入してください。
固定IP環境では、DVRおよびウェブサーバー・ポートを変更する必要はありません。
詳しくは付録4に参照してください。

DDNS

DDNS使用するためには以下を参照してください。

使用者がインターネット回線をダイナミックIPで接続する場合にはDDNSサーバーが必要です。(弊社が設置する無料のDDNSサーバーを使用することができます。www.ddns-dvr.com) DDNSを使用するにはDとドメインを登録してください。



DDNSで「DDNS-DVR.COM(AUTO)」を選択してください。他の選択は使用しないでください。「DDNS-DVR.COM(AUTO)」を選択する「ドメイン」でドメイン名が自動に表示されます。自動に表示するドメイン名を別途メモして記録してください。PCのインターネットのウェブ住所欄に「表示ドメインめお」@ddns-dvr.comを入力するとDVRに接続できます。この場合はDDNSサーバーに別に登録作業が要らないです。

なお、使用者がドメイン名を指定したいなら、「DDNS-DVR.COM」を選択しユーザIDとパスワードおよびドメイン名をセットしてください。この場合はDDNSサーバーに登録しなければならないです。

すべて入力した後、「DDNSステータス・チェック」を選択してください。「DDNSステータス、チェックOK」となれば、ドメインを通じてネットワークに接続できます。

H.264 DVR – (4/8/16 Ch) クイックガイド

検索

マウスの右ボタンをクリックすると制御画面が現れ、『SEARCH』ボタンを押すと、まず「パスワード」を聞いてきます。それから、検索画面が表示されます。

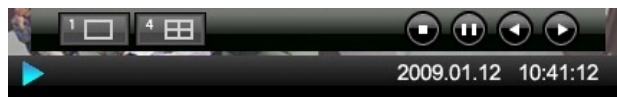
日付/時間検索

「日付や時間」を入力して保存データを再生します。日付/時間のところをクリックすると仮想キーボードが現れ日付や時間の入力ができます。再生したい日付を入力したら「再生」をクリックすると再生が始まります。



再生中は画面の下端部に下のような絵が現れます。

この絵をマウスでクリックするとチャンネル分割を変えることができます。また、一時停止、再生(4段階)、リバーズ(3段階)を実行できます。



イベント検索

イベント録画リストが画面に現れます。

リモコンの矢印左右キーでページを移動し、上下キーで項目を移動します。「SEL」キーで選択すると保存映像が再生されます。マウスでは直接にイベントの1つをクリックすれば保存された録画データの再生ができます。



カレンダー検索

「カレンダー」が画面に現れます。

リモコンの上下キーで年や月を検索し、左右キーでカレンダーの日を移動します。保存録画がある日は白色で表示します。該当日まで移動したら「SEL」キーを押して選択するとサブメニューで下図の様にして時間と分が表示されます

マウスでは該当日をクリックします。



記録データがある時間は各々のイベントが緑色のラインで表示されます。見たい記録の時間を選択すると次のサブメニューが表示されます




H.264 DVR – (4/8/16 Ch) クイックガイド

バックアップ

『Search』メニューから「バックアップ」を選択するとバックアップ画面が表示されます。

注意

メモリースティックをUSBに接続すると  アイコンがモニターに表示されます。

DVRがメモリースティックを認識する間は“READING OPTICAL MEDIA”メッセージが表示されキーが使いにくくなります。

ネットワークに接続されている場合は、“making backup file”の間はネットワークが切られます。



デバイスフォーマット

メモリースティックを使用できるようにフォーマットをします。メモリーの既存のファイルを削除されます。

ファイル形式

「Exclusive」は独自のファイル形式でバックアップします。このファイルは専用プレーヤーにて再生できます。

ログ

録画データとともに自動的にログデータもバックアップされます。

開始時刻 / 終了時刻

バックアップしたい期間を指定します。

チャンネル

バックアップしたいチャンネルを選定。全チャンネルを同時にバックアップ可能なのです必要ならすべてチャンネルを指定します。

バックアップサイズの計算

バックアップするデータの容量を計算します。

伝送

バックアップを実行します。メモリースティックへバックアップデータを伝送します。処理の進捗状況がパーセンテージで画面に示します

● 動作確認済みUSBの種類

Lexar JumpDrive	128/256MB
SanDisk Mini Cruzer	128MB
SanDisk Cruzer Micro	256/512MB, 1GB
Maruzen	1GB

● USBデバイスへの書き込み手順(マウスで操作の場合)

1. 録画を中止します。
2. USBデバイスを挿入します。USBアイコンが画面に表示されるまで待ちます。
3. 「検索」を選んでください。
4. 「バックアップ」を選んでください。
5. 「開始時刻」と「終了時刻」を選定してください。
6. チャンネル番号(カメラ1~16)を選定します。
7. 「バックアップサイズを計算」をクリックして推定容量を確認します。
8. 「伝送」をクリックします。
9. バックアップが終了したら「バックアップ」メニューを終了します。

● パソコンで保存映像を再生

1. バックアップデータが保存されたUSBメモリーをパソコンに挿入します。
2. USBメモリーのフォルダーとファイル(BK_Play, Index, Kerberos, KW_Client)をパソコンへ複写します。
3. “BK_Play”をダブルクリックします。
4. 専用再生プログラムが起動すると「プレー」ボタンをクリックします。

クライアントプログラム

ネットワーク接続

プログラム作動するパソコンの仕様

CPU : 4CH(Pentium III 750MHz以上)、 8/16CH(Pentium IV 1.7GHz以上)

グラフィックメモリー : 4CH(32MB以上)、 8/16CH(64MB以上)

クライアント画面上のアイコンの名前



1) インターネットエクスプローラへIPを書き込み

インターネットエクスプローラの住所項目にDVRのIPを入力します。
もし、DDNSサーバーを利用するならドメイン名を入力します。

2) ActiveXコントロールをダウンロード

パソコンが初めにネットワークでDVRを接続する場合、アクティブ X コントロールダウンロードのウィンドウが表示されます。もし、現在アクティブ X が最新ではない場合もダウンロードのウィンドウが表示されます。「はい」を選んでください。

ファームウェアアップグレード

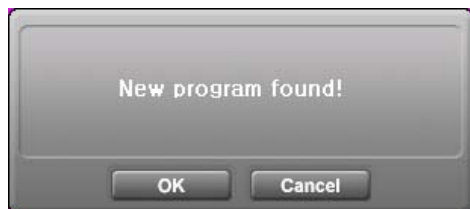


ファームウェアをアップグレードするためには新しいファームウェアがパソコンの指定フォルダーの存在しなければなりません。(C:/DDVR1000/Upgrade)

H.264 DVR – (4/8/16 Ch) クイックガイド

ファームウェアアップグレードボタンをクリックすると、「新プログラムが見つかりました」として、ファームウェアのアップグレードを選定することができます。

見つからない場合は、「新プログラムが見つかりません」と表示され、アップグレードができません。



OKボタンを押して、それぞれのファームウェアをシステムにアップグレードすることができます。

成功すると「S/Wアップグレード完了!」とディスプレイに表示されます。

ファームウェアが完全に機能するためにはDVRを再起動する必要があります。再起動OKボタンを押してください。

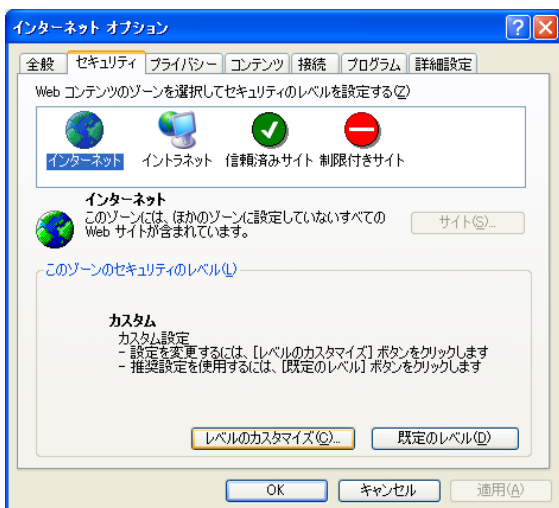


付録1

Window XP/2000/Vista サービスパック 2 へクライアントプログラムの設置

1)セキュリティセットアップ

> Windows XP / 2000

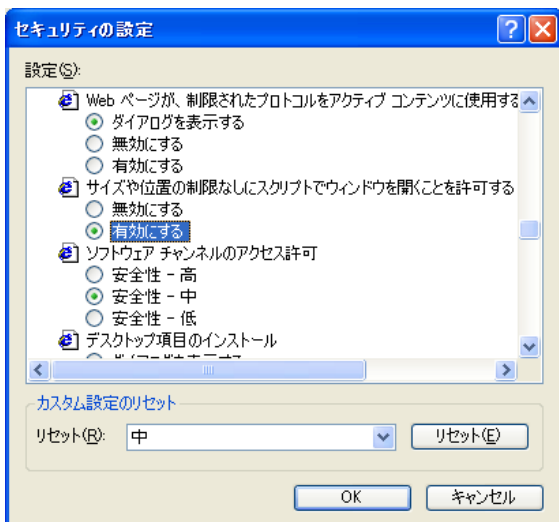


ツール インターネットオプション セキュリティ レベルのカスタマイズ選択

> Windows Vista

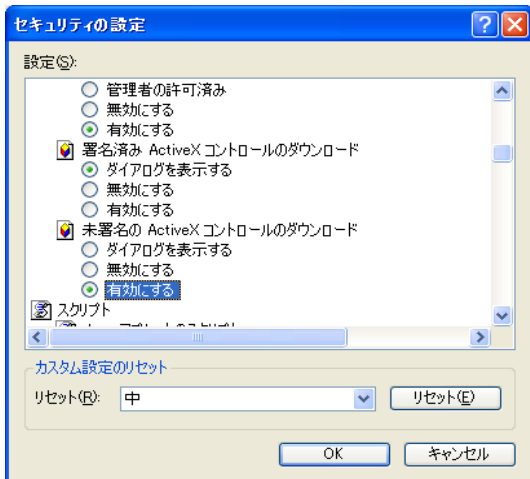


ツール インターネットオプション セキュリティ アンセレクトスクウェアボックス レベルのカスタマイズ選択

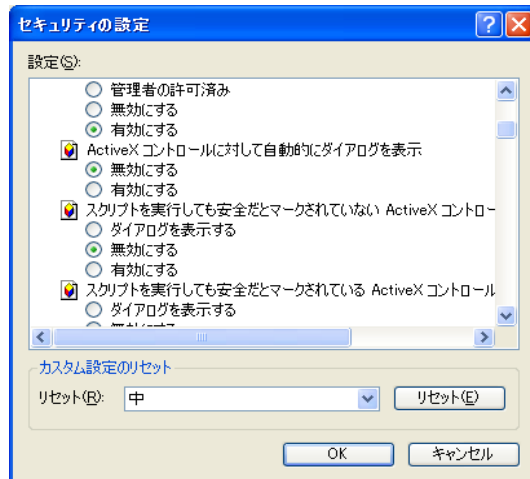


選択 サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する 有効にする.

H.264 DVR – (4/8/16 Ch) クイックガイド

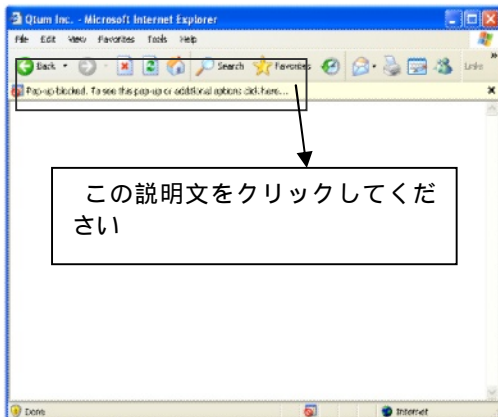


選択 未署名の Active X コントロールのダウンロード 有効にする

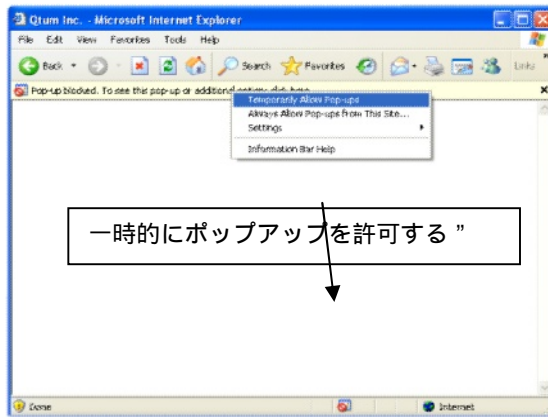


選択 Active Xコントロールに対して自動的にダイアログを表示 無効にする

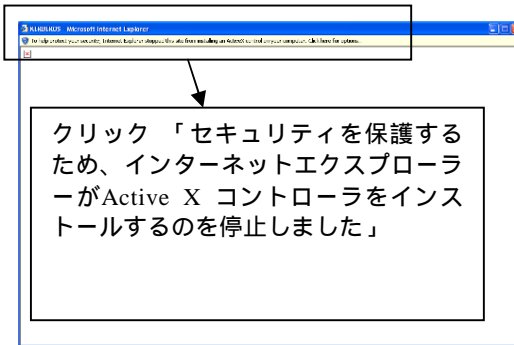
2) 接続



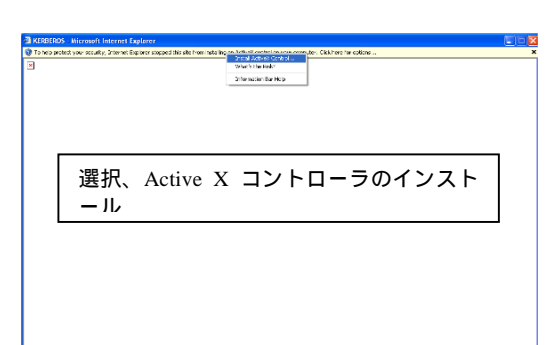
この説明文をクリックしてください



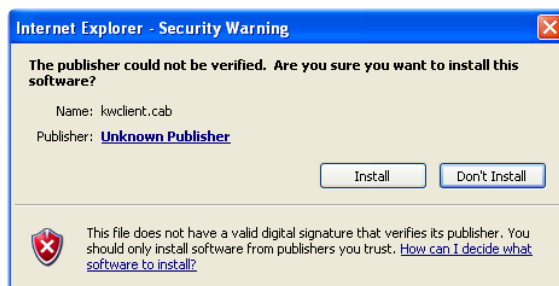
一時的にポップアップを許可する”



クリック「セキュリティを保護するため、インターネットエクスプローラーがActive X コントローラをインストールするのを停止しました」



選択、Active X コントローラのインストール

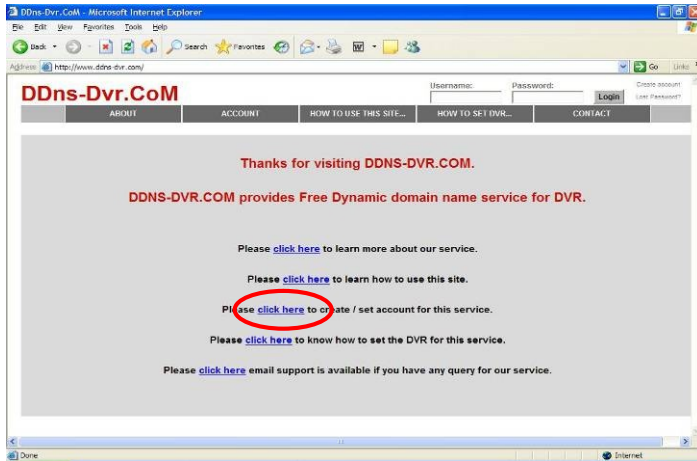


選択、「インストール」ログインボックスが表示されます。

付録2

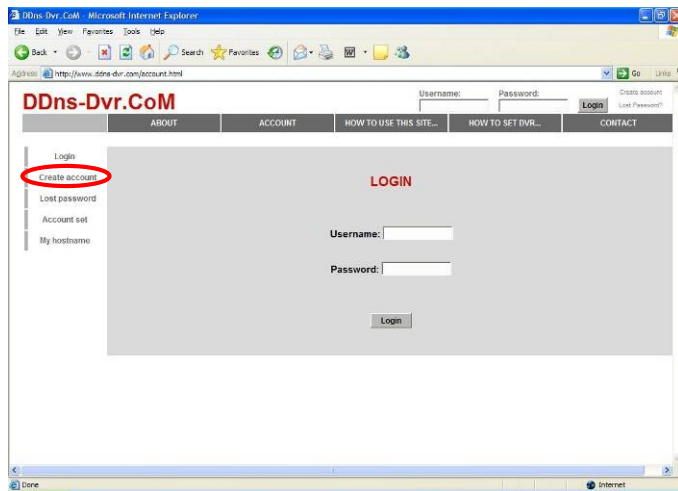
ダイナミックIP (DDNS サーバー サポート)

1. DDNSユーザーIDとパスワードを入手するためにwww.ddns-dvr.comへ接続します。

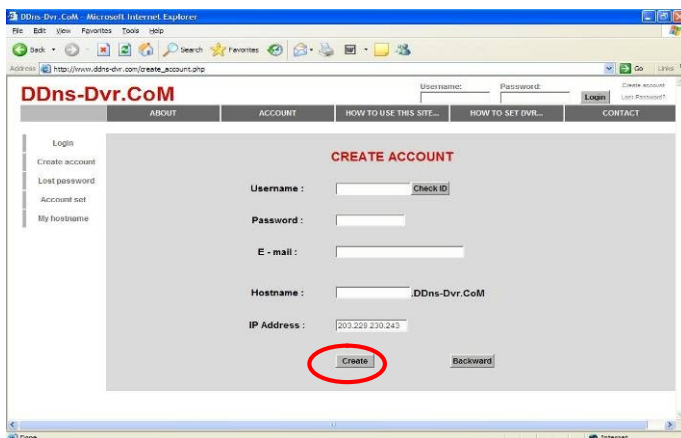


2. DDNSサーバーにアカウント登録するには3番目の「set account」をクリックしてください。

3. 設定メニューからは「Create account」をクリックしてください。



4. アカウント作成



新しいアカウント作成のため空欄をすべて入力してください。
アカウントが作成されるとIDとパスワードが電子メールで送信されます。

付録3

DDNSの設定

ネットワークセットメニューでは、システムはパスワードを聞いてきます。(既定値は00000000です)。

DDNS環境では、DVRとWEBサーバーポートを変えるには、IPセットを参照してください。

DDNSサーバーは、ルータ上で私設の固定IPをラン上に接続できます。(無料でDDNSサーバを使用するためにはwww.ddns-dvr.comにIDとドメインを登録してください。) 付録3を参照してください。

* DDNSをセットアップします。

DDNSを、ON ユーザーID入力 ユーザーパスワード入力
ドメイン入力 “DDNS Status Check”クリック OKなら “Apply”クリック と変えてください。

>注意。 DDNS 設定でドメイン名のタイプは"QT"としてください。



DVRポート/ウェブサーバーポートのルータを共有するIPを使用する設定

1) ルーターを共有しているIPを使うには“DHCP”を“いいえ”にしてください。

DVRポート：1000 ~ 65535までの任意の数字を入力してください。

ウェブポート：DVRポートと重複しない任意の数字を入力してください。

2) ルーターを共有しているIP上の「仮想サーバー」

仮想サーバーはDVRへ割当てたIPを伝達する役割をします。

> 例え

DVR-1 : IP 192.168.10.155、DVRポート 5010、ウェブポート 5011

DVR-2 : IP 192.168.10.156、DVRポート 2010、ウェブポート 2011

2台DVRが上のように設定されたら、ルーターの仮想サーバーは下のように設定します。

1) PC サーバー名: DVR1-1 (IP 192.168.10.155)

プロトコル : TCP、内部ポート : 5010、外部ポート : 5010

PC サーバー名: DVR1-2 (IP 192.168.10.155)

プロトコル : TCP、内部ポート : 5011、外部ポート : 5011

2) PC サーバー名: DVR2-1 (IP 192.168.10.156)

プロトコル : TCP、内部ポート : 2010、外部ポート : 2010

PC サーバー名: DVR2-2 (IP 192.168.10.156)

プロトコル : TCP、内部ポート : 2011、外部ポート : 2011

IP分配に関する詳細はルーターマニュアルを参照してください。

3) ルーターを共有しているIPの上の「DDNS」設定

DDNS構成は固定IPの場合には必要ありません。

4) インターネットエクスプローラ、 <http://QT.ddns-dvr.com:2001> にDVR-1を接続して、CDインストーラ、“QT.ddns-dvr.com”にDVR-1を接続します。



H.264 DVR – (4/8/16 Ch) クイックガイド

付録 4

仕様

製品仕様		NS - 7040R	NS - 7080R	NS - 7160R
		4CH	8CH	16CH
ビデオ	映像入力(BNC)	4	8	16
	TV方式	NTSC		
	映像出力	1BNC) / 1 VGA / 1 SPOT		
音声	音声(入力/出力)	1/1	1/1	1/1
センサー	アラーム(入力/出力)	1/1	1/1	1/1
OS(オペレーションシステム)		Embedded Linux OS		
表示	速度	120ips	240ips	480ips
	解像度	720 × 480		
録画	圧縮方法	H.264		
	解像度	720 × 480、720 × 240、360 × 240		
	録画モード	ノーマル/モーション/アラーム(優先順位 アラーム > モーション > ノーマル)		
	マルチモード	クワッドデュプレックス(ライブ、再生、録画、遠隔監視 同時)		
	録画速度	30ips(720 × 480)、60fps(720 × 240)、120fps(360 × 240)		
	ウォーターマーク(改竄防止)	独自アルゴリズムで設定		
再生	表示	1, 4	1, 4, 8	1, 4, 8, 16
	検索モード	日時/カレンダー/イベント(アラーム、モーション、音声)		
	速度	ノーマル、REW(×1,2,4,16)、FF(×1,2,4,16)、frame to frame、ポーズ		
ネットワーク	インターフェース	イーサネット(10/100M LAN RJ45 × 1)		
	通信	RS-232 1EA、RS-485 1EA (PTZカメラとキーボード制御)		
	WEBブラウザ	インターネットエクスプローラ5.0以上		
バックアップ	インターフェース	USB 2.0 × 1ポート		
	アーカイブ	外付けHDD、CD&DVD RW、ネットワーク、メモリースティック		
操作方法	操作	赤外線リモコン/マウス		
	PTZカメラ	RS-485接続で制御		
その他	ハードディスク	SATA 500GB × 1	最大SATA 2000GB × 1	
	電源	AC100V		
	消費電力	最大36W		
	使用環境	5 ~ 40 / 30 ~ 80%RH		
	外形寸法/重量	355(W) × 245(D) × 60(H) 3Kg		

注意*デザインと製品仕様は予告なしに変わることがあります。

保証書

保証期間 お買い上げ月より12ヶ月間有効です

型番	
シリアル番号	
ご購入日	
ご購入店	
お客様	お名前
	ご住所 〒
	TEL () -

お願い

本保証書は、記載漏れがありますと、保証期間内でも無料修理または交換補償が受けられません。

また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

取扱説明書などの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本保証書をご持参ご提示の上、弊社までご依頼ください。

**取扱説明書の詳細版が必要な方はメールにて下記にお申し込みください。
PDF版 70 頁を送付します。**

info@nsk-sec.co.jp



株式会社 NSK

〒461-0004 名古屋市東区葵1-16-28

TEL 052-935-6833 FAX 052-935-6835

保証規定

- 1) 本保証書は保証期間中、本商品の保証をするものです。
付属品類は保証の対象になりません。
この期間に正常に動作しなくなった場合は、弊社の判断で無料修理、または新品と交換します。
修理のため交換された部品または製品はお返しできません。
- 2) **取替えにかかる費用及び配送費はお客様負担とさせていただきます。
弊社の電気工事業者が必要な場合は実費請求させていただきます。**
- 3) ご購入後自己修理されますと、通常状態で誤作動を起こす可能性があります。修理が必要の際はCS技術センターにお問い合わせください。
- 4) 次の場合は、保証期間内であっても保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
 - (1) 本保証書のご提示がない場合。
 - (2) 本保証書に所定事項の記入がない場合、または書き換えられている場合。
 - (3) 使用上の誤り(取扱説明書に沿わない誤作動など)による故障。
 - (4) 弊社以外で行われた修理・改造・分解・掃除などによる故障
 - (5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、落下、公害、異常電圧による故障。
 - (6) 他人または自己の故意または不注意による落下・損傷による故障
 - (7) 取扱説明書に記載の使用方法に反するお取り扱いによる故障または損傷
- 5) **デジタルレコーダーで記録された画像は、予め決められた映像管理者又は管理責任者が、外部流出又は目的外使用されないよう厳重な管理をお願いします。
弊社は、万一、記録された画像が流出して損害が発生しても一切責任は負いませんのでご注意ください。**

お願い

本商品の取扱説明書の内容の一部または全部を弊社の許諾無しに複製することは出来ません。

本商品は将来改良のため予告無しに変更することがございます。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

使用方法は取扱説明書に詳しく記載していますので、使用に際しては充分ご覧ください。